

地球の胎動 が聞こえる 躍動せよ

と聞こえる

中学 1 年・2 年生対象

春レビュー講座

ゝ 実力 ゝ は徹底した復習から成る!

充実の16日間

3月7日(木)～4月3日(水)

クラス
コース
(中1・2学年)

- ◎ 英語：オリジナルテキストで基礎力定着＋実戦問題
- ◎ 数学：オリジナルテキストで基礎力定着＋実戦問題
- ◎ 理科：基礎の確認と小テスト＋実戦問題
- ◎ 社会：基礎の確認と小テスト＋実戦問題
- ◎ 国語：基礎の確認と小テスト＋実戦問題

4/2・3 県下統一模試 (個人成績票と学力分析表をお届けします。)

[中 1 年]

教室	学習時間	学 習 日
隼人教育 ゼミナール	午後7:40 ～10:10	3月) 7日(木) 8日(金) 12日(火) 13日(水) 14日(木) 15日(金) 20日(水) 21日(木) 22日(金) 26日(火) 27日(水) 28日(木) 29日(金)
		4月) 1日(月) 2日(火) 3日(水)
国分教育 ゼミナール (横川校)	午後7:30 ～10:00	3月) 9日(土) 11日(月) 12日(火) 13日(水) 15日(金) 16日(土) 20日(水) 22日(木) 23日(金) 25日(月) 26日(火) 29日(金) 30日(土)
		4月) 1日(月) 2日(火) 3日(水)
国分教育 ゼミナール (国分校)	午後7:40 ～10:10	3月) 7日(木) 8日(金) 11日(月) 13日(水) 14日(木) 15日(金) 20日(水) 21日(木) 22日(金) 25日(月) 27日(水) 28日(木) 29日(金)
		4月) 1日(月) 2日(火) 3日(水)

[中 2 年]

教室	学習時間	学 習 日
隼人教育 ゼミナール	午後7:40 ～10:10	3月) 7日(木) 8日(金) 12日(火) 13日(水) 14日(木) 15日(金) 20日(水) 21日(木) 22日(金) 26日(火) 27日(水) 28日(木) 29日(金)
		4月) 1日(月) 2日(火) 3日(水)
国分教育 ゼミナール (横川校)	午後7:30 ～10:00	3月) 8日(金) 9日(土) 11日(月) 12日(火) 15日(金) 16日(土) 20日(水) 22日(木) 23日(土) 25日(月) 26日(火) 29日(金) 30日(土)
		4月) 1日(月) 2日(火) 3日(水)
国分教育 ゼミナール (国分校)	午後7:40 ～10:10	3月) 7日(木) 8日(金) 11日(月) 13日(水) 14日(木) 15日(金) 20日(水) 21日(木) 22日(金) 25日(月) 27日(水) 28日(木) 29日(金)
		4月) 1日(月) 2日(火) 3日(水)

講 座 費：28,850 円 (教材費 2,100 円、統一模試費 2,600 円、消費税全てを含みます。)

お申し込み：平日は 13 時 30 分より 20 時まで。

3月2日(土)3日(日)は午前10時より17時まで各教室で受け付けます。
(横川校の平日受け付けは16時より)

個別指導
コース
(小学生・中学生)

生徒2人に先生1人

※横川校を省きます

学習日	8回(曜日の選択ができます)	
時 間	(A)	18:40～20:00(80分)
	(B)	20:10～21:30(80分)
教 科	英語・数学 (国語・理科・社会も相談に応じます)	
講座費	22,800 円 (教材費 1,300 円 統一模試費 2,600 円) 消費税全てを含みます。	

- ・この講座だけ受講される場合、入会金は不要です。
 - ・学習時間は(A)(B)のいずれかを選択できます。
- ※学習日・時間は選択できますが、ペアの方との日程・時間調整をさせていただきますのでご了承下さい。

新中1(クラスコース)

無料
予約受付け中

4月はプレ塾

塾ではどんな勉強をするのか、塾の先生や友だちと馴染んでいけるのかなどの不安をお持ちの方に、じっくりご体験頂くための準備講座です。

週2日の学習を3週間で体験ください。

入塾する、しないにかかわらずお気軽にご参加ください。

各教室の定員は16名です。

定員になり次第締め切らせて頂きます。

3月の小学生・高校生は
通常通りの学習です

合格速報 (私立中・高)

鹿児島第一中学校

鹿児島修学館中学校

鹿児島第一高校	14名(特待7名)
鹿児島実業高校	25名(文理科特待 他)
龍桜高校	15名(看護科5名 他)
鹿児島高校	25名(英数科特待 他)
樟南高校	15名(英数科特待 他)
鹿児島情報高校	4名
神村学園	3名(看護科1名 他)
鳳凰高校	2名(看護科1名 他)
大口明光	1名
鹿児島城西高校	11名
都城高校	5名

「自分の一番を」を
めざして



国分教育ゼミナール

KOKUBU EDUCATION SEMINAR

- 国 分 校 霧島市国分清水 1-22-52 ☎46-1266
- 横 川 校 霧島市横川町中ノ 990-1 ☎72-9187
- 隼人教育
ゼミナール 霧島市隼人町内山田 1-8-15 ☎42-2822



隼人教育ゼミナール

HAYATO EDUCATION SEMINAR



2013 年早春特別号 ゼミナル通信 “鳥瞰するが如く”

受験生、今が踏ん張り時！

今、君は受験のプレッシャーを強く感じていないか。「落ちたらどうしよう？」と考えることが多くなっていないか。

誰もが入試のことを考えると不安になる。でもそのマイナス要素だけを考えるのはよそう。不安感が増すばかりで、何をどう勉強したらいいかわからなくなるから。

今、この期に及んでは、開き直りがとても大事だ。結果は受け入れるしかない。だから今は結果なんて考えないことだ。

今まで塾で使ってきた問題集やプリントをじっくり復習し、覚えるべきところは、声を出したり書いたりして覚えることに集中する。そして「授業に集中するんだ」と自分に言い聞かせる。「今やっているところが出る」と信じる。そうすれば日々の学習の集中度が増していき、入試に挑むという積極的な精神が生まれてくるものだ。これでもう大丈夫。

さあ、落ち着いたらラストスパートを開始するぞ。丹田に力を込め、気合を入れて！

受験生は、2月26日から入試直前まで8日間毎日、最後の調整を行います。3年前は2月からまとめとして始めた古文の文章がそのまま出題されました。もちろん他の教科も「これは大事だよ」といつも言っているものが多く出ました。最後まで1点でも多くとるんだという気持ちを持って頑張りましょう。幸運は努力した分だけついてくると信じて。

本を読もう！ 世界を広げよう！



『ボックス』（上・下）
百田 尚樹 作（太田出版）

高校教師であるヨウコは、電車の中でタバコを喫っている不良グループにからまれた。しかし一人の少年がそのグループを一瞬にして倒していった。まるで風が吹き抜けたみたいだ。

そして偶然にも、助けてくれたその少年は彼女の勤める高校のボクシング部の生徒、カブラヤだということがわかった。

ケンカが強く、ボクシングの天才カブラヤと、その友人で成績はいいが中学時代いじめられっ子のユウキ。この2人を中心に、ボクシング部を通してそれぞれが強さと弱さに向き合い、挫折しながらも貴重な青春時代を懸命に生きていく。

ボクシングが織りなすこの青春ドラマにきっと君は魅了され、涙せずにはいられない！



『影法師』
百田 尚樹 作（講談社）

七歳の勘一は、自分を守ろうとして上士にたち向かった父を、目の前で殺された。勘一は自らの不用意な一言が取り返しのつかないことを引き起こしたことに気づき、凄まじい後悔が沸き起こると同時に涙が込みあげしゃくりあげた。その時だった。

「泣くな。武士の子が泣くものではない。」と怒鳴る者がいた。それが後に竹馬の友となり刎頸の交わりを結んだ彦四郎との出会いだった。

その後、下級武士から筆頭家老にまで上り詰めた勘一と、「卑怯傷」を負い藩を逐電した彦四郎。二人に一体何が起こったのか。二人の強い友情にとめどなく涙が流れる。

百田尚樹氏の作品は上記の他に、オオスズメバチを題材にした異色の小説「風の中のマリア」、そして代表作とも言える「永遠の0」があります。「永遠の0」は以前紹介したので今回は割愛しましたが、いずれもお勧めの感動の作品です。是非、ご一読下さい。



『10代の子供が育つ魔法の言葉』
ドロシー・ロー・ノルト 作（PHP）

この本は次のような言葉で始まります。

「子どもの声に耳を澄ましてください。
プレッシャーをかけすぎると、子どもは疲れてしまう
厳しいルールを押しつけければ、子どもはルールを破る方法を探す
好き勝手にさせると、子どもは人の気持ちに鈍感になる
失敗を繰り返すと、子どもは自信を失う
約束を破られると、子どもは失望を味わう
否定されると、子どもは苦しむ」

10代はむずかしい年頃です。危険な誘惑もたくさんあります。

そして私たち大人も10代はそうだったように、親に刃向かい、社会に反抗し、傷つくことを恐れたりして様々なことに悩んだりします。

この本は色々な事例をもとにして、親である私たちにあの頃を思い出させてくれます。そして子どもの気持ちに気づかせてくれます。

実はそこを土台にして、考え行動できるようになれば、子どもが育つ魔法の言葉、が自ずと私たちの中に生まれてくるのではないかと、この本は示唆しているように思われます。

Hot News

県下一周駅伝 朝日嗣也先生大活躍！！

始良チームが4年ぶりの総合優勝を果たした。5日間のうち4日間の日間優勝で圧倒的な勝利だった。スタッフと選手一人ひとりの意識の高さがもたらした完全なるチームワークの勝利だ！その中の一人、我等が朝日嗣也、の存在は大きかったのではないかと。昨年は初出場ながら朝日の大会か、と新聞報道されるほどの大活躍だったからだ。朝日嗣也が種をまいたと思っている。第1日目3区、第3日目5区、そして第5日目10区、昨年に続き全て区間賞。朝日先生の頑張りが生徒に伝わらないはずがない！



産・閑話 菜の花マラソン 全員完走！

1月13日に行われた指宿菜の花マラソンに、多持、内村、四本、朝日、八木の5名が出場しました。約1万9000人のランナーが参加しましたが、冷たい雨と風というあいにくの天気だったため、リタイアした人も数多くいたようです。しかしそんな悪天候にもかかわらず、沿道では多くの地元の方々が様々な形で応援してくれました。これらの温かな気持ちに支えられて完走できたのではないかと思います。びしょぬれで寒さにふるえながらゴールした時は、「ああ、やっとなつたか。」という安堵感でした。

ゴール後に、準備してあったあったかいうどんのおいしかったこと！もしかして、この一杯のうどんのために走ったのではないかなと思えるほど至福の一杯でした。

やぎ文庫

ここ数年読んできた本で事務所の小さな本棚がいっぱいになってきた。そこでブックオフにでも持って行こうかなと思っていたところ、職員や生徒が借りて読んでくれるので、本を処分するよりは本棚を増やした方が楽しみが広がりそうだな、と思い直した。最近は職員と本のお話することも多くなった。職員や卒業生らと一献傾ける時も本が共通話題になることも多い。生徒の中にも読書家がいて「最近何読んだ?」「何読んでいるの?」と語りかけるだけでも嬉しい表情を見せてくれる。

この小さな本棚だけどこか存在感がありそうな気がしてきた。そんな折、美人職員(?)が「この本棚に名前をつけましょう。やぎ文庫にしましょう。」と提案と同時に決定を下した。